



Topics

協会事業のお知らせ



令和2年度市町村交付金を交付しました

2月8日(月)に、令和2年度ハロウィンジャンボ宝くじの収益金及び令和元年度ハロウィンジャンボ宝くじの時効金分を合わせた、令和2年度の市町村交付金(総額約6億200万円)を178市町村(札幌市を除く)に交付しました。



令和2年度調査研究事業

一地域づくり事例集を発行しました

道内外の地域づくりの取組を調査し、本道の市町村において今後の参考となる先進的な事例を紹介しています。

今回は「住みたい」「住み続けたい」まちを目指して一を基本コンセプトに、①優しく安全な地域づくり②住みやすさと活力を支える社会基盤③アウトソーシングなどの業務効率化一といった3つのテーマを設定し、道内外19市町村の事例を取り上げています。

当協会ホームページにも掲載しておりますので、ご活用ください。



令和3年度の事業計画が決定しました

2月25日の理事会において、令和3年度の事業計画を決定しました。主な事業等は次のとおりです。

令和3年度事業計画・収支予算については、当協会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。(掲載URL <https://do-shinko.or.jp/disclosure/information/>)

また、研修支援事業や助成事業等の申請手続きについては、順次Eメールやホームページによりお知らせします。

◆資金貸付事業

<長期貸付金>

長期貸付金の償還年限は15年(固定)と20年(固定)のいずれかですが、据置期間は3年以内で選択することができます。貸付予定額は、今年度より5億円増の65億円です。

◆市町村交付金事業

<市町村振興宝くじ交付金(サマージャンボ交付金)>

この交付金は今年度に創設しましたが、令和3年度は、均等割(4割)及び人口割(6割)により算定して得た合算額に、市町村が発行する広報誌等に市町村振興宝くじの販売促進に向けた広告を掲載した場合は、1市町村当たり10万円、市町村振興宝くじの特設売場に応募し、特設売場を設置した団体が一定の販売実績をあげた場合には、1市町村当たり30万円を加算して交付します。予算額は5億5,000万円です。

<新市町村振興宝くじ交付金(ハロウィンジャンボ交付金)>

新市町村振興宝くじは昨年度と同様に、均等割(4割)及び人口割(6割)により算定して得た合算額を交付します。予算額は6億800万円です。

◆研修支援事業

令和3年度に実施する主な研修支援事業は、次のとおりです。

- (1) 地域づくりセミナー開催支援事業
- (2) 市町村職員まちづくり研修会開催支援事業

◆助成事業

令和3年度に実施する主な助成事業は、次のとおりです。

- (1) いきいきふるさと推進事業助成金交付事業
- (2) 市町村アカデミー等研修受講助成金交付事業
- (3) 救急救命士追加講習受講経費助成金交付事業
- (4) 先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金交付事業

◆研修事業

令和3年度に実施する主な研修事業は、次のとおりです。

- (1) 北海道市町村長交流セミナー
今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しましたが、来年度は、8月26日(木)にホテルポールスター札幌で開催する予定です。なお、例年セミナー終了後に実施している「交流のタベ」は、感染症対策の観点から開催しないこととしました。
- (2) 市町村職員国内先進事例研修
道外及び道内の2コースで実施する予定です。
- (3) 市町村職員政策研修会
10月下旬にホテルポールスター札幌で開催する予定です。
注1:市町村職員外国派遣研修については、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染状況を踏まえ、令和3年度は実施しないこととしました。
注2:他の事業についても、新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる場合があります。

◆調査研究事業

道内市町村にとって地域づくりの参考となる先進的取組を紹介する、「地域づくり事例集」を発行します。

◆情報資料等提供事業

令和3年度の協会発行図書は、次のとおりです。

- (1) 市町村政策情報誌「プラクティス」(年3回発行予定)
- (2) 北海道市町村要覧2021

宝くじ情報

令和3年度 宝くじ発売計画

サマージャンボ宝くじ 7/13~8/13
ハロウィンジャンボ宝くじ 9/22~10/22

宝くじは北海道内で購入しましょう

パソコンやスマートフォンからも購入できます。

詳しくは宝くじ公式サイトから

→<https://www.takarakuji-official.jp/>



今後の主な行事予定

3月25日(木) 第2回臨時評議員会の開催